

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
201	経済学演習（荒木一法）	通年	3年以上：4単位	荒木 一法 政政・経演・国演

副 題
Subtitle 企業と家計の行動分析（応用ミクロ経済学）

授業概要
Course Description

（目的）本演習は、企業と家計の行動分析を題材として、参加者の分析力とコミュニケーション能力を向上させることを主たる目的とします。

（方法）伝統的なミクロ経済学に加えて、ゲーム理論や契約理論を具体的な分析事例を交えて学ぶことで、参加者の分析力の質を高め、幅を広げる事を試みます。また、プレゼンテーションと討論の機会をできるだけ多く確保するとともに、適宜短いレポートの提出を求め、参加者の「話す力」「書く力」の向上に努めます。

（題材の説明）企業の投資・資金調達行動、資金仲介者（銀行・証券会社等）の行動、さらには家計の消費・貯蓄・資産選択行動を分析対象とします。これらのトピックを理論的に扱った文献ならびに関連ニュースを報じる新聞・雑誌の記事を題材とします。まず、邦文文献ならびに記事を題材にゼミを進め、後に英文文献ならびに記事を導入する予定です。

授業の到達目標
Objectives

- ・状況に応じた効果的プレゼンテーションをおこなうことができる。
- ・ディスカッションにおいて、自らの考えを正確に伝えることができる。
- ・ミクロ経済理論の応用力を強化し、与えられた事例に即応的分析を加えることができる。

授業計画
Course Schedule

第1回：プレゼンテーションの技術（講義）
 第2回 - 第14回：履修者による発表と議論
 第15回：夏合宿および秋学期ゼミの課題設定
 第16回 - 第29回：履修者による発表と議論
 第30回：3年ゼミ活動のまとめと進路指導

教科書
Textbook(s) 教員が指定する教科書候補の中から、参加者が相談して決定します。

参考文献
Reference Book(s)

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	夏合宿での課題提出、秋学期の研究内容をまとめたレポートは必須。
平常点評価 Class Participation	50 %	担当箇所の理解力およびプレゼンテーション能力の水準およびその向上の度合いを評価。
その他 Other	%	

備 考
Note 応募時に経済学入門A、ミクロ経済学、解析学入門（もしくは解析学）の3科目について単位を取得済みであること、および別途詳細を掲示する2回のゼミ説明会のいずれか1回に出席することを応募の前提条件とします。本演習の目標に賛同し、チャレンジする意志を持った元気ある諸君の応募を大歓迎します。

関連URL
URLs for References